

デルフィニウムの冷房育苗による12～1月出し栽培法

【要約】 デルフィニウムの12～1月出し栽培では、播種後に28～35℃の高温に21日間以上遭遇すると定植後の抽台株率が低下する。早期抽台を回避して切り花品質を高めるためには、7月下旬に播種した後、播種直後から昼間25℃、夜間15℃で8週間冷房育苗を行う。

園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室

連絡先

092-922-4111

部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	花き類	分類	普及
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

【背景・ねらい】

デルフィニウムは、播種後の幼苗期が高温の場合に苗立枯れや早期抽台株が発生し、切り花品質の低下が著しい。最近、冷房育苗による12～1月出し栽培が行われるようになったが、育苗期の高温障害や冷房育苗方法については不明な点が多い。そこで、本県における12～1月出し栽培における育苗期の高温障害と切り花品質向上のための播種時期及び冷房育苗期間について明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- ①定植後の抽台株率は、播種後の高温遭遇期間によって異なる。12月出し栽培における7月上旬播種では、播種後に28～35℃の高温に21日間以上遭遇した場合に抽台・開花株率が低下する（図1）。
- ②早期抽台株の発生を回避して、切花長が長く、ボリュームのある切り花を12～1月に採花するためには、7月下旬に播種を行った後、直ちに昼間25℃、夜間15℃で8週間冷房育苗を行い、9月中下旬に定植するとよい（表1）。

【成果の活用面・留意点】

- ①デルフィニウムの12～1月出し栽培地域における早期抽台防止及び切り花品質向上技術として活用する。
- ②施設栽培で9月の高温期に定植する場合は、十分灌水するとともに寒冷しゃ等を被覆して活着を早める。

[具体的データ]

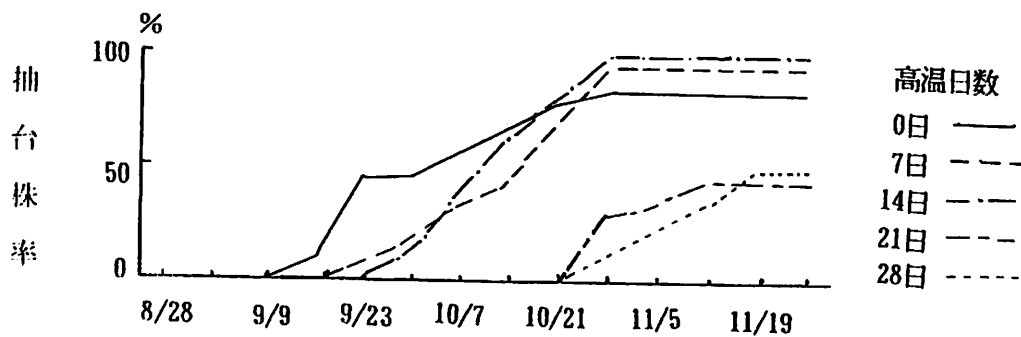


図1 高温遭遇期間と抽台株率 (平成3年)

注) ①品種「ブルズリングス」7月1日播種
 ②高温日数0日は播種直後から
 8週間冷房育苗 昼 (25℃) - 夜 (15℃)
 7~28日は最高気温28~35℃の遭遇期間

表1 12~1月出し栽培における播種時期、冷房育苗期間と
 開花日及び開花時の諸形質 (平成4年)

播種時期	冷房育苗期間	平均開花日 月日	切花長 cm	葉数 枚	花穂長 cm	切花重量 g	開花株率 %
7月	無処理	11・28	61	9	27	55	80
20日	7週間	12・5	70	11	29	77	80
	8週間	12・10	81	12	44	93	97
	9週間	12・24	74	9	37	86	84
8月	無処理	12・19	63	8	29	49	40
10日	7週間	1・11	63	13	42	57	47
	8週間	1・18	88	12	35	90	67
	9週間	1・26	74	9	32	68	54

注①品種「ブルズリングス」

②冷房育苗 昼 (25℃) - 夜 (15℃)

[その他]

研究課題名: 高温障害対策技術の開発

予算区分: 国庫 (地域重要)

研究期間: 平成5年度 (平成3~5年)

研究担当者: 坂井康弘、小林泰生、谷川孝弘

発表論文等: 平成3~5年度園芸研究所野菜花き部花き花木試験成績書